

メディカルサポート報告



表題：『第76回全日本大学バスケットボール選手権大会への帯同』

11月29日から東京都と神奈川県で行われた、第75回全日本大学バスケットボール選手権に当院でメディカルサポートを行っている星槎道都大学男子バスケットボール部が出場することとなり、トレーナーとして帯同してきました。

星槎道都大学は北海道予選を全勝優勝し、当大会へ5年連続で出場している強豪チームです。当院では2022年より通常練習から試合時におけるウォーミングアップやクールダウン、個別対応のコンディショニングやトレーニング指導、負傷時の対応などをサポートし選手の活躍を支えてきました。

今大会では予選から競技を続けられないような負傷者はなく、万全の状態で本戦まで戦うことができ、日頃から介入している予防運動やトレーニング指導が身を結んだ結果となりました。

大会の結果は天理大学戦（55対70:敗戦）、東海大学九州戦（74-77:敗戦）と善戦しましたが惜しくも勝利には届きませんでした。特に東海大学戦は最後まで勝敗がわからない緊迫した展開となり選手達は全力を尽くしていました。今大会で引退となる4年生は創部以来の悲願である大会初勝利を後輩へ託し、大学バスケットボール生活を締めくくりました。

今後も選手達のさらなる成長を支えるため、引き続きサポートを行ってまいります。

